特集:次世代情報教育の構築に向けて ――情報教育環境――

## 情報演習における苦手意識のバロメーターに基づく 授業改善とその評価

萱津 理佳\*. 國宗 永佳\*\*. 不破 泰\*\*\*

## Class Improvement Based on a Barometer to Identify the Students' Dislike in an Information Tutorial Class and Its Evaluation

Rika Kayatsu\*, Hisayoshi Kunimune\*\*, Yasushi Fuwa\*\*\*

We have hoped for students to learn knowledge and skills to utilize information and communication technology. For this purpose, it is important to find students who are likely to drop behind in the information tutorial class in the early stage. We made a questionnaire to examine collage students' weak points on computer use and information tutorials just after entrance into collage and before graduation. As a result of our analysis, we would like to introduce one hypothesis: we could identify the students who are likely to drop behind in the class by focusing on Excel skills. To examine this hypothesis, we made class improvements focused on Excel skills in an information tutorial class, and many students' skills improved. Furthermore, more students came to register for other ICT classes after this class.

キーワード:情報演習, ICT 利活用能力, 苦手意識のバロメーター, 授業改善, アンケート調査

## 1. はじめに

長野県短期大学多文化コミュニケーション学科国際地域文化専攻は、県立の総合短期大学における文科系の専攻で、2004年度に教養学科より改組された。当学科の学生の入学目的はさまざまであるが、われわれはすべての学生にとって情報および情報技術を活用するための知識と技能(以後、これをICT 利活用能力と呼ぶ)の習得は重要であると考えている。

本専攻の情報教育に関する科目は、1年前期・後期、2年前期・後期にそれぞれ設けている。しかし、これらの科目はいずれも選択科目であり、学期進行に伴って履修率の大きな低下が見られる。また、高校での教科「情報」に関する理解度評価テストを利用した卒業時の調査から、情報に関する理解度が不十分なままで

卒業する学生が多い事,入学時および卒業時に行った アンケート調査から,ICT 利活用を難しいと感じてい る学生が少なくないことが明らかになった.

情報に関する理解度を増し、ICT 利活用能力を向上させるためには、情報教育に関する科目の履修率の低下を防ぐことが重要であると考える。われわれは、これらの科目を学生が履修しない要因はその学生の情報科目に対する苦手意識にあり、学生の苦手意識に対する早期の対処が必要であると考えた。

本研究で着目した「苦手意識」に関する研究としては、コンピュータに対する苦手意識を対象とした平野ら (1) や広瀬ら (2) の研究があげられる。平野らの研究では、パソコンに苦手意識のある学生はパソコン操作に不安を感じていることをアンケート調査より実証しているが、どのようなパソコン経験が苦手感の軽減

受付日: 2008年5月8日; 再受付日: 2008年8月7日; 採録日: 2008年9月22日

<sup>\*</sup> 長野県短期大学(Nagano Prefectural College)

<sup>\*\*</sup> 信州大学工学部(Faculty of Engineering, Shinshu University)

<sup>\*\*\*</sup> 信州大学大学院工学研究科(Graduates School of Science and Technology, Shinshu University)